

令和3年1月15日（金）
国土交通省大宮国道事務所
さいたま市建設局土木部道路環境課

記者発表資料

生活道路の安全性向上のため、仮設ハンプ・狭さくの試行的設置による実証実験を行います。

～さいたま市緑区東浦和一・二丁目地区におけるETC 2.0データを活用した安全対策～

国土交通省大宮国道事務所とさいたま市建設局が協力し、ETC 2.0データや現地点検から特定された速度超過や急ブレーキ多発、抜け道として利用されている生活道路における、走行速度の低減や流入交通量の低減などを目的とした実証実験（仮設ハンプ・狭さくの試行的設置）を行います。

ETC 2.0データを活用した生活道路対策として仮設ハンプ・狭さくを設置する今回の実証実験は、さいたま市内では2箇所目の取り組みとなります。

【実施概要】

■施工日時：令和3年1月19日（火） 9：00～17：00

（当日9：00～17：00の時間内において市道の通行規制を実施）

※天候等により、施工が延期になる場合があります

■施工場所：さいたま市緑区東浦和^{みどり}二丁目^{ひがしうらわ}15番地先

■設置期間：令和3年1月19日（火）～2月16日（火）（予定）

■主な対策内容：仮設ハンプ・狭さく 1箇所

※取材についてのお知らせ

- 1 現地での取材を希望する場合は、取材前日迄にさいたま市建設局土木部道路環境課へ電話連絡願います。
- 2 現地には報道関係者用の駐車場をご用意できませんので、公共交通機関でお越し下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ

お問い合わせ先

【ビッグデータを活用した潜在的な危険箇所の分析に関すること】

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 電話 048-669-1200（代表）

副所長 渡邊 正（わたなべ ただし）

交通対策課長 平 哲治（たいら てつじ）

【仮設ハンプ・狭さくの設置等に関すること】

さいたま市 建設局 土木部 道路環境課 電話 048-829-1490

道路環境課長 斉藤 稔（さいとう みのる）

さいたま市緑区東浦和一・二丁目地区において 生活道路安全対策の実証実験を行います

〇現状

さいたま市緑区東浦和一・二丁目地区内のJR武蔵野線沿いにある井沼方公園前の道路は、すりばち状の地形により、速度超過する車両が多い道路です。ビッグデータ（ETC2.0データ）の分析結果からは、速度超過に加え通過交通が多いことも確認されています。

〇実証実験の内容

仮設ハンプ・狭さくの設置（試行）

道路上に凸型などの構造物を設けることにより、走行する車の速度低下及び通過交通の抑制を図ります。



▼仮設ハンプ・狭さく設置イメージ



この地図は、国土地理院の地理院地図に対策実施箇所等を追記して掲載したものである。

※生活道路対策エリア内では、令和元年度末に「ゾーン30」の対策工事を実施しました。

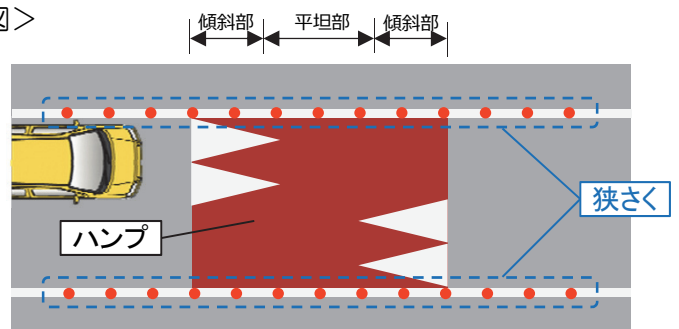
▼ハンプとは

通行する自動車の速度を抑制するために道路上に設けられた凸型の構造物。

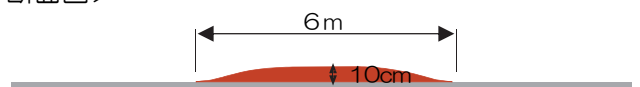
▼狭さくとは

通行する自動車の速度を抑制するために、自動車の通行部分の幅を物理的または視覚的に狭くする構造物。

<平面図>



<ハンプ断面図>



<参考>さいたま市緑区東浦和一・二丁目地区 におけるこれまでの取組と今後の流れ

○さいたま市緑区東浦和一・二丁目地区 生活道路の交通安全会議について

地域のみなさまと関係機関（警察、国土交通省、さいたま市(教育機関含む)）で構成される検討会を設立し、課題の整理や対策方針について意見交換を行いました。

これまで3回の検討会等を実施しており、今後は今回の試行的設置の結果を踏まえ、本格的な対策実施を検討する予定です。

対策実施に向けた実施ステップ

ステップ1 地区の課題を知り対策を考える

第1回（H31.1.23）さいたま市通学路合同点検・対策検討会

- ・地区の道路状況、交通状況（ETC2.0による分析）、交通事故発生状況などを確認するとともに現地を歩き、地区内の課題について意見交換を行いました。
- ・それらの課題に対してどのような対策を行うべきかを議論しました。

ステップ2 ゾーン30工事の実施説明

第2回（R1.12.19）令和元年度 ゾーン30整備工事説明会

- ・事前に地元や関係者にゾーン30対策工事（区画線やラバーポール等による安全対策工事をR2.1月～3月に実施）の概要を説明しました。
- ・第1回で話し合われた課題と対策案を踏まえた、地区の課題と意見に沿った対策として、仮設ハンプの試行的設置について提案するとともにその他課題について議論しました。

ステップ3 対策（試行）の実施検討

第3回（R2.12.21）仮設ハンプ・狭さく実証実験ワークショップ

- ・事前に地元や関係機関への説明として、仮設ハンプ・狭さくの試行的設置による実証実験（R3.1月中旬より1ヶ月程度）について周知するとともにその他課題について議論しました。

ステップ4 実証実験の効果を評価・本格的な対策実施の検討

- ・実証実験の効果を評価します。（仮設ハンプ・狭さく設置前/設置中で比較）
- ・本設置に向けた課題を整理し、本格的な対策実施を検討します。

▼検討会等実施状況



ETC 2.0による分析

